令和７年度　やまがた社会貢献基金助成事業　活動報告書

団体名	ヤマガタ防災・減災 Action！		
事業名	災害を生き抜き、暮らしを守る”ゲンサイライフサポーター”育成		
助成事業区分	協働助成事業（テーマ希望型） 【山形日産　子どもから大人まで防災・減災を学び、安心して暮らせる社会づくり支援事業】		
団体の所在市町村	山形市	事業費	1,004,022 円
		うち助成金額	1,000,000 円
事業実施期間	令和７年６月１１日～令和８年２月２８日まで		

事業目的・実施内容

（事業目的）

Ｒ６.7月の大雨災害において、避難所開設・運営が公助任せとなった現状があり、被災した公助においては避難所の環境整備にまで手が回らず全国的に求められる避難所運営の質を満たすことが難しい現状があった。避難所の運営や設置については、市民の参画が求められる部分である。その為には自助の推進や共助へ理解が必要となる。「避難生活」を視点として、最新の災害被害の体験やシュミレーションを踏まえ、男女共同参画の視点や要配慮者に対する視点、被災者の置かれる状況などを学び、避難生活に対し、自ら改善していく力を持つ、防災と暮らし両方の視点をもった支援者（サポーター）を増やすことを目的とした。

（実施内容）

地域防災計画で想定している地震災害発生時に想定される避難行動、そして避難生活に視点を置き、具体的な対策を学び、それを自助として自分の生活に活かし、地域の共助への参画の第一歩となる人材の育成を目的に訓練・研修を実施する。

①災害発生へのイメージづくり（地震災害の想定、命と暮らしを守る方法）YURETAでの地震疑似体験
②災害時の避難所の様子を知る（避難所備品等の体験）
③避難所の設営・運営のポイント（地震時の避難所の課題を学ぶ、被災地の実例から男女共同参画・要配慮者・ペット等の視点、改善点を洗い出す）
④避難所で役立つ掲示物等の制作（どの避難所でも使えるコミュニケーションシートの制作）※声を上げにくい人、言いにくいことを表現することにフォーカスし、シートを制作した。

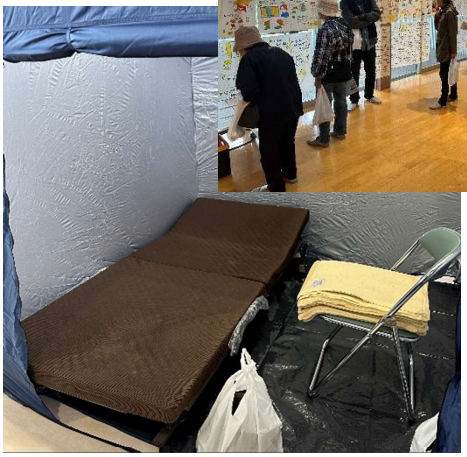
①・②を実施するため、地震体験マットYURETAを実施できる「山形ゆらし隊（実施する人材をゲンサイライフサポーターとする）」の結成に向け、認定団体となるための研修に参加。認定後、YURETAを使用し①・②の研修を５か所（酒田市総合防災訓練・山形市立第六小学校・なかやま保育園・山形市立本沢小学校・中山町中央公民館）体験研修を1か所（ファーラ）

	で実施、③・④では避難所の課題を洗い出し、改善点を探った。県総合防災訓練での気づきやセミナーなどで集めた声を基に、県民の避難生活に対して、直観的に役立つコミュニケーションシートを作成した。

事業の成果	地震時の災害想定を体験し、その上で具体的に自発的な防災活動を実施する為の情報提供や学びの場を創出する事業となったが、これまでの学ぶ知るという一方通行の防災教育では無く、学びを他者にフィードバックする体験を入れ込むことで、次の一手である、地域や職場での共助に活かしていく声が多く聞こえた。また、外部団体との連携が進み、来年度以降、活動しやすい体制が作れた。制作物を通じて、災害時の避難所での支援者（サポーター）を増やし、避難所の環境改善にも繋がるのではないか。研修体験・観覧者：500名程度
今後の展望	県市町村の策定している地域防災計画の被害想定を体験的に学べる地震体験マットYURETAを使用し、事前防災の大切さを伝えていく。YURETAを使用できる認定団体に関わる人材や団体、企業を増やし、災害時をどう生きるのか、そのための暮らしの工夫を進める自助の視点と、自身の暮らしを守るための共助との連携の視点を持つ人材を増やしていきたい。YURETAとあわせて、コミュニケーションシートの本格的な広報をしながら、体験者も実施者も増やしていく。











団体概要

団体名　ヤマガタ防災・減災Action！
代表者　細谷　真紀子
メール：
当団体は、男女共同参画の視点や人権の視点を持つ防災・減災活動を推進しています。お問い合わせは上記メールよりお問い合わせください。

令和７年度山形県ＮＰＯ活動促進補助事業

収支精算書

事業の名称	災害を生き抜き、暮らしを守る”ゲンサイライフサポーター”育成
団体名	ヤマガタ防災・減災Action！

１　収入の部

（単位：円）

区分	精算額	内容
県補助金	1,000,000	令和７年度山形県NPO活動促進補助金
当該事業による収入	0	
その他収入	969	Amazonポイント126p・レンタカーポイント843p
自己資金	3,053	団体会計より支出
合計	1,004,022	

２　支出の部

（単位:円）

区分	精算額	内容
謝金	40,000	外部講師謝金（20000円×2名）
旅費	104,900	会員,ボランティア交通費（団体規定により算出）
印刷製本費	52,741	広報チラシ11272円・資料コピー28869円・研修用冊子12600円
消耗品・材料購入費	318,302	運営材料教材費・展示用資材費、会場設営消耗備品費
通信運搬費	4,430	地震体験資材運送費 材料購入時送料
保険料	0	
使用料	207,499	レンタカー費用（移動、資材運搬用）・地震体験資材YURETAレンタル
人件費	177,150	研修実施および会場機器運搬・撤収用人件費（※5回、2～5名）
（委託費）	99,000	チラシおよびコミュニケーションボードデザイン料
（備品購入費）	0	
（修繕費）	0	
合計	1,004,022	